

平成20年11月1日号

No.74

## 11-1



### 伝える手作りの味と心

10月15日、日本文化体験旅行で横浜市から来た子供たちが栄地区で再生された「大屋納豆」作り挑戦しました。納豆作りの難しさと楽しさを体験した子供たち。大屋納豆保存会の皆さんの巧みな手さばきに見入っていました。

「食育」は生きる力を育てます



interview  
インタビュー

横手市栄養教諭  
佐々木景子さん  
(ささき けいこ)

栄養士として学校給食にたずさわり、平成20年から横手市では初めてとなる栄養教諭に任命。全市37校を担当する。2人の小学生の母でもある。

「食育」とは、食の正しい知識を得て、自分で生きていく力を持った人を育てることです。現代社会では、多くの食材が氾濫し、同じように情報もあふれています。子どもたちは、食に関する言葉や名前を断片的にはよく知っていても、実はテレビで聞きかじった程度の知識でしかないことが多いのです。家族など身近な人たちからの知識も、以前ほどは得られなくなっています。特にここ数年は、地域の郷

土食や和食を、「食べたことがないから食べられない」という子どもたちが増えてきました。そんなとき、学校の友だちや先生の応援は大きな力になります。学校給食にはたくさんの方の手がかかっています。地域の人たちの手がかかっています。地域で育った野菜だよねというだけで、子どもたちの目は輝いてきます。生きる力を育む「食育」には、必要性和ともに大きな可能性を感じています。学校給食は、食育を進めるための最も有効な手段と言えるのではないのでしょうか。

地産地消スクールランチメニュー

地域の食文化を知ってもらおうと、横手の豊富な食材を活用した学校給食メニューを季節ごとに4種類作成し、実際に給食として提供しています。地場産品をふんだんに使った、目にもおいしい学校給食の優等生です。

●春の献立

発芽玄米入りごはん  
牛乳  
かど(ニシン)焼き  
フキの煮物  
若竹汁  
リンゴのコンポート  
サクランボ  
(エネルギー742キロカロリー)



おしえて!!

学校給食はいま

学校給食の場は、大きく変わるころとしています。そこでは、かつての給食のイメージを大きく変えるさまざまな動きが始まっています。お昼ごはんを提供するだけではなく、「食育」を担う存在として注目が集まる学校給食の、昔と今をおさらいします。

給食のはじまりと広がり

山形県の小学校が、子どもたちにおにぎりや漬物などを出した学校給食のはじまりは、明治22年のことでした。その後学校給食は日本中に広まり、物資不足で休止した戦時中を経て、脱脂粉乳や小麦粉など国際社会からの援助物資を使って再開され、昭和27年4月からは、全国すべての小学校で完全給食の実施に向けた動きがはじまります。昭和29年には、学校給食法で給食が教材として学習の中

横手市の学校給食はいま

に位置づけられます。食事についての正しい理解や望ましい習慣を育み、学校生活を豊かにして明るい社交性のかん養を目的にうたうことで、給食が教育の一環であることが宣言されました。横手市の学校給食は、平成17年の合併を機に旧市町村の8給食センターが、横手市各地区学校給食センターとなり、給食費も統一して新たな歩みをはじめました。現在では、食育の観点から各校の最高学年を対象にしたバイキング給食や、フオークとナイフの使い方を学ぶマナー給食など、多彩な給食が実施されています。地場産食材をふんだんに盛り込んだスクールランチメニューの実施。職人が目の前で腕をふるう横手やきそば給食などの試みは、食と農のまち横手らしい取り組みです。かつて空腹をしのぐためにはじまった学校給食は、120年の時を経て、食育と地域の再認識という、大きな役割を担おうとしているのです。



「いただきます」を守りたい

いま、世界的に「食」への注目と関心が集まっています。命を育み、心と体を育てる学校給食。それは地域を担う子どもたちに最も身近な「食」のかたち。そして、食をめぐる地域の指標であり縮図でもあります。学校給食の現在と未来をともに考えてみましょう。「いただきます」の元気な声を、いつまでも守るために。

横手市学校給食のあらまし

- 小学校 (給食費 1食あたり240円)  
食数 1日約5,500食(児童と職員等を含む)  
年間1人当たり185食を提供します
- 中学校 (給食費 1食あたり270円)  
食数 1日約3,000食(生徒と職員等を含む)  
年間1人当たり185食を提供します

給食費は食材の実費で、光熱費や人件費は含まれません。教材費として保護者からご負担いただいています。

学校給食のあゆみ年表

- 明治22年(1889) 鶴岡市の私立忠愛小学校が全国初の学校給食を実施
- 昭和7年(1923) 「学校給食臨時施設方法」で国が初めての学校給食を実施
- 昭和21年(1946) 戦後の学校給食再開。東京・神奈川・千葉で試験的に
- 昭和22年(1947) アメリカからの脱脂粉乳で全国の都市300人に給食開始
- 昭和27年(1952) 全国すべての小学校で完全給食に向けた動きが始まる
- 昭和29年(1954) 「学校給食法」の公布で給食が教育として位置付けられる
- 平成8年(1996) 全国で病原性大腸菌O157による集団食中毒が発生
- 平成17年(2005) 「食育基本法」が制定される

安心の広がりを感じています



interview  
インタビュー

横手市  
和泉ひろみさん  
(いずみ ひろみ)

小学校6年生の子を持つ母。食の課題に関心が高く、給食にも問題意識を持つ。11月15日開催の食のイベント「よこての食べかた」の実行委員でもある。

「学校給食が変わったな」と思っている方がいます。いま大学生の息子が小さかった頃比べると、地産の野菜が多く出るようになりました。顔の見える人たちが作った食材で給食ができるというのはとてもうれしいこと。ついでに言えば、調理員さんたちの顔も見え形がベストだとは思いますが。

納豆汁などの残食の多さは気になります。家庭で食べなくなっているのでしょうか。食生活の変化を感じますね。

教育としての学校給食も大きく広がっているようです。食器の置き方の指導や校内放送の食材の紹介など、どんないい方向に進んでいます。これからは、家庭と給食センターの互いの顔が見えるような交流の深まりを期待したいですね。食育の場としての学校給食と交流できれば、そこから家庭の食や生活の質も変化していくのではないのでしょうか。

これからも、食に関心のある仲間の皆さんと、学校給食に注目していきたいと思っています。



運搬車への迅速な積み込み作業(横手学校給食センター)



各学校への配送を前にコンテナ内を入念にチェック



目で確かめる洗浄作業(横手学校給食センター)

バイキング給食は食べ放題？

バイキング給食は、何種類かの中からバランスよくおかずを選び取るという食育の学習の一つ。食べる量を競うものではありません。ホテルなどのバイキングでも、何度も料理を取りに立つのはほめられることではありません。まして料理を山盛りにとったあげく残したりするのは完全なマナー違反。食育の面からも不合格です。

給食あれこれ

ボール箱は調理場内には搬入させませんし、生ものは5度から10度以内の、品目によって定められた温度を保っているかを温度計でチェックされます。食材は汚れが落ちるまで繰り返し手作業で洗浄し、皿1枚、箸1本まで目で見て確認します。

それでも発見できずに、本来給食に入るべきではないものが混じってしまうことがあります。その際は、原因を確かめて再発防止をはかるとともに、原因が食材にある場合は納入業者に調査を依頼し、報告書の提出とともに再発防止を確約させています。

給食の情報公開する

これまでは、学校給食に関わるさまざまな経過が見えにくくという現実がありました。学校給食センターでは、給食の情報公開するために保護者の皆さんから給食のメニューを試食いただく試食会や調理の工程をご覧いただけるセンター見学などを随時受け付けています。自由なご感想や質問をいただくことで、安全・安心の透明度をさらに高めたいというのがセンターの願いです。



安全な給食を提供します(平鹿学校給食センターの皆さん)

夏の献立

- ゆかりごはん
- 牛乳
- ウインナーとアスパラの串焼き
- 夏野菜サラダ
- 米麺入りすまし汁
- スイカ
- (エネルギー708キロカロリー)

だいじょうぶ？

給食の安全・安心

給食を語る上で、最も大切なことは、安全で安心な給食の提供です。

給食の材料を納入する食料業者から、徹底した衛生管理が求められる調理員、搬送担当のドライバー、そして事務担当者にいたるまで、給食には多くの人々の安全への努力と祈りがこめられています。安全と安心を守る取り組みを取材しました。

病原菌から給食を守る

平成8年、全国の給食センターを震え上がらせる事件が起きました。

腸管出血性大腸菌O157の大流行です。45都道府県で9,500人も患者と10人の死者を出した騒動は学校給食の現場にも及びました。

これを契機に、横手市の各学校給食センターの衛生管理は以前に増して徹底されるようになり、毎日の調理には詳細な記録が残されるようになりました。今も継続しているその防疫体制によって、現在まで横手市学校給食からの発生は確認されていません。ほぼ毎冬のように流行しているノロウイルスも脅威のひ

食をおびやかすキーワード

●O157  
平成8年5月に岡山県の学校給食が原因の食中毒事件で知られるようになった腸管出血性大腸菌。加熱不十分な食材から感染し、少数の菌でも発症して感染症や食中毒を引き起こす。感染者の便などからも簡単に二次感染が起きる伝染性の強い病原菌。

●ノロウイルス  
口から感染して、伝染性の胃腸炎を起こす。感染後死亡するような事態は少ないが、治療法は発見されていない。学校給食では調理員の十分な手洗いや、調理器具を衛生的に保つことなどで効果的な感染予防ができる。

●中国製冷凍ギョーザ  
千葉と兵庫の3家族が市販されていた中国製の冷凍ギョーザを食べた後、吐き気や下痢など食中毒の症状を訴え、9人が入院した。その後、有機リン系の農薬が混入していたことが判明した。

●事故米転売  
事故米として転売を禁じられていた輸入米が、殺虫剤メタドホスに汚染されたまま転売され食材の原料として流通していた事件。給食納入用の食材に使用していた会社があり問題になった。

●メラミン混入  
メラミンは、熱で硬化する合成樹脂(メラミン樹脂)の原料として知られる化学物質。中国産食品で製品のタンパク質の含有量を偽装するために使われたとされ、中国製ペットフードや粉ミルクが原因の事故が報告されている。

産地・食品偽装から守る

とつです。一部の二枚貝や人から感染して急性胃腸炎を引き起こすウイルスで、平成18年には全国で六十余の学校が学校閉鎖や学級閉鎖に追い込まれました。

その他数多くの病原菌から給食を守るため、市のすべての学校給食センターでは、保健所などと情報を共有し、細心の注意を払って毎日の調理を行っています。

異物の混入から守る

各センターの調理員は、食材がセンターに運び込まれた時点から、異物の混入などがないか厳しい目を光らせています。納品の時のカゴやダン

ら安価な外国製品は締め出される傾向にあります。すべての外国製品が好ましくないという判断ではなく、産地が不明瞭なものや流通経路に疑問があるものなどは、順次取り扱いを控えるようにしています。外国製品から国産品に切り替えたことで、大幅な値上がりにつながった例もありますが、価格を優先しても安全を後回しにすることはありません。

横手の収穫カレンダー

野菜	種別	5	6	7	8	9	10	11	12
ホウレンソウ		■							■
ジャガイモ					■				
ネギ									■
モロヘイヤ									■
キャベツ			■						■
ハクサイ			■						■
ブロッコリー			■						■
カリフラワー			■						■
ダイコン									■
タマネギ									■
ナス									■
トマト									■
キュウリ									■
カボチャ									■
アスパラガス									■

果物	種別	5	6	7	8	9	10	11	12
サクランボ									■
キャンベル									■
スチューベン									■
西洋ナシ									■
リンゴ(千秋)									■
リンゴ(ふじ)									■
メロン									■
スイカ									■



やきそば職人を迎えてのバイキング給食(横手南小学校)

残ったものはどうなるの？



給食あれこれ

学校給食ではどうしてもある程度の残食が出てしまいます。以前は敷地内で堆肥作りをしているセンターもありましたが、現在は大雄の堆肥センターに持ち込むなどして効率よく再利用しています。

揚げ油は使用した後でプラントに運ばれ、バイオディーゼル燃料に生まれ変わります。香ばしいてんぷらの匂いの燃料です。



interview インタビュー

横手市学校給食野菜出荷農家会  
高橋利光さん  
(たかはし としみつ)

横手市旭地区で農業を営む。25戸の仲間と農家会を結成し横手学校給食センターに地産産物の野菜を出荷している。JA秋田ふるさとときゅうり部会長。

横手産の手作り野菜を給食に

いま農家会が自信を持ってお勧めできる地産産物は、アスパラ、ジャガイモ、ホウレンソウ、ネギ、シイタケなどです。学校給食センターとのお付き合いでは、一日に何千という食数分の野菜を安定的に確保するための苦労があります。それでも、丹精した野菜を笑顔で食べてくれる子どもたちの様子を思い浮かべると心が晴れる思いです。農家の流した汗も一緒に食べてもらっているような一体感が、学校給食に出荷することの喜びです。農家会の出荷品の割合はまだまだあまり高くありませんが、将来は60%程度を目標にしていきたいと思っています。

横手は大きくなりました。子どもたちにそれぞれの地場の特産を食べてもらうには工夫が必要です。一つひとつの農家会は小さくとも、連携してネットワークを作れば、自分たちでできない作物を補いながら広い範囲で活動できることでしょう。今後はそんな動きが起きないものかと考えています。もうひとつの夢は、子どもたちに種まきから収穫までの農作業を実践してもらい、その喜びとともに作物を食する体験をってもらうことです。地元で育った作物を口にすることで、これからの提供していきたいと思っています。

学校給食と地産地消

地域地産産品で支える学校給食の形が、少しずつ姿をあらわそうとしています。

地産地消とは、地域で生産された農産物などをその地域内で消費することをいいます。地産地消の長所は数多くあげられますが、生産者との距離が近く安心・安全であることとか、旬の食べ物を新鮮なうちに食べられる、地域経済の活性化、地域への愛着の喚起、伝統的な食文化が継承できるといったさまざまな利点があり、そのまま学校給食に

●秋の献立

栗ごはん  
牛乳  
サケのくすかけ  
ホウレンソウと菊のクルミあえ  
いものこ汁  
ブドウ  
(エネルギー720キロカロリー)



顔の見える給食

おいしいね！

食と農のまちづくりを掲げる横手市。学校給食は地産地消の可能性を拓く大きな手がかりです。コメの消費拡大、地産産物の野菜や食材の納入など農業と学校給食とのかわり合いはこれからますます深くなっていきそうです。



増田高校実習田での田植え作業。秋には収穫祭も…(増田小学校)

横手の地産産品を給食に

平成13年5月の県内紙に、横手市が学校給食に地産産品(野菜)の導入を始めたという記事が掲載されています。これは、旧横手市の農林課が、11戸の生産者に呼びかけて始めた試みで、記事によれば、当面はジャガイモとニンジンを対象にして減農薬栽培をすると書かれています。これが、現在横手学校給食センターに農作物を納入している、横手市学校給食野菜出荷農家会の前身です。

また、平成14年にはJA秋田ふるさと増田総合支店が窓口となり、地元農家が生産する野菜を増田学校給食センターに供給する、青物横丁友の会という組織も発足しています。農家の皆さんから地産産品を購入するメリットは、なんととっても生産者の顔が見える安心感に尽きます。それは、農産物直売所から生産者の名札のついた作物を購入するイメージに近いものがあります。減農薬栽培などの導入によって、学校給食として、より理想的な食材に近づける

速報 第3回全国学校給食甲子園  
「横手市の給食がベスト12で決勝大会進出決定」

全国学校給食甲子園は、地産産品を生かした学校給食の献立を競う全国大会で、今年で3年目を迎えます。今回平鹿学校給食センターで応募した献立が、全国1,329点の応募の中から、三次審査まで勝ち進み、決勝大会に進出する全国12点の中に選ばれました。

今回勝ち進んだ献立は、地産地消スクールメニューの、秋の献立と冬の献立をアレンジしたもので、古代米入りごはん、牛乳、納豆汁、ハタハタの唐揚げ、セリ蒸し、リンゴ、という内容です。

決勝大会は11月9日(日)に東京駒場の女子栄養大学で、以下の条件のもとに、実際に料理を作るキッチンスタジオ形式で行われます。

- ・出場者は2名(栄養教諭または学校栄養職員と調理員)
- ・分量は5人分とする。
- ・1時間以内で調理をすること。
- ・調理場の衛生管理が適正に行われていること。

横手の給食が全国の頂点を競う日まで、もうすぐです。



朝、地元農家から旬の野菜が届けられます(増田給食センター)

一方、地産産品を給食に提供する側には、求められる課題もあります。年間を通しての取引に堪える経営基盤がしっかりとされていること、発注に答えて一定の数量を供給できる安定した生産基盤が求められることなどです。現状ではこれらに一部課題を残すものの、今年から山内地区でも、学校給食センター周辺の農家数戸が農家会を組織し、地元産の食

材を納入するなど、新たな展開がありました。

取り込むことができそうです。昨年10月に完成した地産地消スクールランチは、横手の豊富な食材を活用した特色のある学校給食メニューを季節ごとに作成し、学校給食に提供して地域の食文化を知ってもらおうと、秋田県農林水産部などが企画したものです。メニュー作りは横手市学校給食協議会栄養士部会の皆さんが中心となり、地元農協や食育ボランティアの皆さんの協力を得て、メニューの検討から試作、栄養計算など試行錯誤を重ねて誕生しました。

食育を進めながら給食を守ります



interview  
インタビュー

横浜市教育委員会 教育指導部長  
伊藤孝俊  
(いとう たかとし)

旧横浜市平鹿郡内の公立小中学校で教鞭をとる。平成14年からオーストラリアに赴任。帰国後旧横浜市教育委員会教育次長に着任。平成19年から現職。

給食をとりまく現状が厳しいことは確かです。その中で、この明らな兆しは、今年、横浜市としては初めての栄養教諭を配置したこと。これまでは、非常勤講師として栄養士による指導を続けてきましたが、市内の全37校の給食を担当する専任の栄養教諭が誕生したことで、これまで以上に具体的な指導ができるようになったことは大きな収穫でした。栄養教諭に期待するのは、食育におけるコーディネーターとしての役割です。栄養士の経験と実績を合わせることで、横浜市の食育推進のスピードアップが期待されます。

燃料や材料費の高騰が話題になっていますが、物価が上がったから給食費も、ということも考えていません。まず給食費の未納・滞納の解消が急務です。物価上昇の状況を正確に分析する必要があります。メニューを作る栄養士にもより工夫をお願いした上で検討したいと考えます。学校給食センターは、学校統廃合とともにその統廃合が求められます。安全と安心に配慮しながら進めていくことになりませんが、当面は地域ごとに異なるセンター機能の統一をはかり、均質なサービスが提供できるよう努めていきたいと思います。



楽しく食べることも食育につながります(大雄中学校)



バイキング給食ではバランスよく取ることを学びます



●冬の献立  
ごはん  
牛乳  
ハムソテー  
セリむし  
納豆汁  
いぶりたくあん  
リンゴ  
(エネルギー683キロカロリー)

どうなるの？  
給食の明日を守る

学校給食が抱える問題、それは食の安全に関わるものだけではありません。燃料費や原材料費の高騰、施設設備の老朽化、少子化を受けた学校統廃合とセンターの統廃合など、地域社会に関わる諸課題の縮図ともいえるべき問題が給食センターを揺るがしています。

限界に近い材料費の高騰

昨年から今年にかけて、原油高騰と連動して燃料費が大幅に値上がりしました。学校給食の食材も大きく値を上げています。同じメニューで食材を購入した場合、昨年度と今年度でどれだけの差が出るかを学校栄養士が試算したところ、メニューによって差はあるものの、横手給食センター管内の小中学生の場合で、1人1食あたりの給食費に換算して約6%から23%の値上がりが見られました。これは、約12円から48円の給食費のかなり増しを意味しています。

進む施設・設備の老朽化

市内の8学校給食センターは、昭和30年代から40年代にかけての開業が多く、施設も改修や改築を実施してから長い年月が経過しているセンター

育てたい食育の力

食育を通して生きる力を育むとは、具体的にはどのようなことをさすのでしょうか。財団法人日本食生活協会が提唱する「親子で食育 親子で5つの力を育てましょう」では、「食育」は単に「食」に関する知識だけを学ぶのではなく、豊かな自然によって育まれる命の素晴らしさ、愛

1があります。昭和38年開業で同55年に現在の施設を建設した十文字センターや、昭和49年の新築開業以来一度も建て替えることなく今日まで営業を続ける横手センターなど、何らかの抜本的な手当てが必要な施設が目立ちます。施設の管理と運営には細心の注意を払っていますが、学校統廃合と連動しながら、安全な施設・設備への切り替えが求められています。

食育基本法と学校給食

さまざまな課題を抱えながらも、学校給食が食育を担う大切な拠点であることに変わりはありません。国は平成17年6月に「食育基本法」を制定しました。これは、すべての国民が健全な心身を培い、豊かな人間性を育むためには、食生活の大切さを学ぶ「食育」を押し進めることが大切だと定めたものです。食育基本法では、  
①学校や保育所、施設等の食育推進  
②家庭における食育推進

センター方式とタンク方式

給食の調理場は、大きく2つのタイプに分かれます。何校分かをまとめて作り配送するのが共同調理場方式とも呼ばれるセンター方式で、横浜市のほか大田市、湯沢市などが採用しています。対する単独校方式は、1つの学校に1つの調理場が付いて給食を提供する方式をいい、県内では秋田市がこの方法を採用しています。

給食あれこれ

学校給食費について

学校給食費の納入は給食の材料費を教材費として負担していただくもので、学校給食法により定められた保護者の義務です。横浜市では全世帯のうち約3%弱の未納・滞納者が存在します。平成20年度の給食費は次の方法で納入いただいています。

- ①口座振替
- ②金融機関窓口での現金納付

上記2つの方法では納めることが難しい世帯のために、2か月以上給食費を未納した場合に限り

- ③学校の集金とともに給食費を納めていただく学校集金での納入をお願いしています。

平成19年度以前の滞納者については管理職による家庭訪問を行い、収納相談を通じて滞納の解消に努めています。

**納め忘れはありませんか  
口座の残高確認をお願いします**

- 料理をする力  
指を使い、五感を総動員して料理をつくることは子どもの創造力、集中力、計画性を育みます。
- 食べ物を選ぶ力  
自分のからだにとって必要な食べ物をバランスよく食べているかを判断する知識と知恵を身につけましょう。
- 食べ物の命を感じる力  
野菜、肉、魚といった食材は豊かな自然が育んだ「生命」。自然環境や食べ物を尊重し、感謝するところをもちましょ。
- 食べ物の味がわかる力  
食育は、単に食の知識や情報を身に付けるだけではなく、心を育てる教育です。学校給食を通して食育を進めることは、地域の素晴らしさに気づくことに通じます。食育は、地域の明日を守り、未来に向けた地域づくりへと広がっていく営みではないでしょうか。
- 元気な体のわかる力  
自分のからだのもっとも元気な状態を感じて、常に健康でいられるよう、からだをコントロールする力を身につけましょ。

- ③地域における食育推進
  - ④食育推進運動
  - ⑤生産者、消費者との交流の推進
  - ⑥食文化の継承のための活動への指示
  - ⑦食品の安全性、栄養その他の食生活に関する調査研究、情報の提供、国際交流の推進
- などの大切さについて語られています。この項目を見ただけでも学校給食が食育に果たす役割の大きさに改めて目を開かれます。



## 秋を感じながら自然を楽しむ

### ■森林体験エコウォーク(山内)

10月12日、好天に恵まれた山内地域では、森林インストラクターの講話を聞きながら自然を楽しむ『森林体験エコウォーク』が開催されました。

これは地域の森林のすばらしさを体感し、地域環境への関心を高めてもらおうと行われたもの。参加者たちはモミジやドングリなど“秋”を感じさせる草木に囲まれた約1.3kmの道のりを、1時間半ほどかけて散策しました。また散策後は、山内いものこ汁とおにぎりが振る舞われ、味覚でも秋を満喫していました。



インストラクターの講話を聞き、自然の楽器・草笛に挑戦!



号砲の合図で一斉にスタートを切る参加者(10km・20km部門)

## マツタケ獲得目指し健脚を競う

### ■第20回まつたけマラソン大会(雄物川)

10月13日、雄物川まつたけマラソン大会が行われ、県内外から参加した553人が、入賞品のマツタケ獲得を目指し、秋晴れの空の下で健脚を競いました。

競技は、市役所雄物川庁舎前を発着点に、男女別、年代別、距離別に14部門で行われ、各部門の上位6位までマツタケが贈られたほか、参加者全員にマツタケご飯が振る舞われました。また、第20回の節目を記念し、99年世界陸上の銀メダリスト・市橋有里さんが招待選手で参加。3部門で選手とともに汗を流しました。

## リンゴにちなんだイベント盛況

### ■第43回りんごまつり(増田)

10月12日、増田地域恒例のイベントとして定着している『りんごまつり』が真人公園で開かれ、ミスりんごコンテストや『リンゴの唄』コンクール、皮むき競争など、リンゴにちなんだイベントでにぎわいました。

ミスりんごコンテストには、市内外から17名が出場。審査員の質問に答えた後、増田産リンゴを一人ひとりが笑顔でPRしました。審査の結果、ミスりんごには鶴沼絵梨子さん(羽後町)、佐々木理沙さん(羽後町)、熊澤まみさん(横手市)の3人が選ばれました。



第43代ミスりんご。左から鶴沼さん、佐々木さん、熊澤さん



人気を博した、昔ながらの太巻き作り実演コーナー

## 地元の“魅力”を味わう

### ■横手まるごと『味力』ものがたり

10月18日と19日の2日間、秋田ふるさと村を会場に横手まるごと『味力』ものがたりが開催されました。

横手の食をテーマに特産品や加工品を紹介しようと、秋田魁新報社・市・秋田ふるさと村の主催で行われたこの催し。天候にも恵まれ、多くの家族連れなどが会場を訪れました。特に、リンゴやブドウ、イモノコ、横手やきそばなど、地元の食を一堂に集めた味力八選コーナーや太巻き作り実演コーナーが人気を集め、来場者は旬の食材や懐かしの味を堪能していました。

### 市営住宅の入居者を募集します ~申込期限は11月14日(金)まで~

#### ①公営住宅

地域名	名称	築年度	間取り	家賃(円)	募集戸数
横手	吉沢住宅	S53	3DK	13,800~	1
	七日市住宅	S56	2LDK	15,200~	1
	南朝日が丘住宅	S57	2LDK	17,700~	1
平鹿	第二道川団地	S48~	2DK	4,500~	4
雄物川	今宿団地	S59	3K	13,200~	1
	今宿第3団地	H5	2LDK	18,000~	1
	下鶴田団地	H15	2LDK	23,800~	1
大森	西野団地住宅	H7~	3LDK	26,100~	2
	十五野住宅	S51	2DK	10,000~	1
	上揃住宅	S46~	3DK・2DK	7,300~	3
大雄	旭団地	H18	2LDK	25,200~	1
	大雄東団地	S59	3DK	14,800~	1

#### ②特定公共賃貸住宅

地域名	名称	築年度	間取り	家賃(円)	募集戸数
平鹿	五十田団地	H9	3LDK	52,500~	2
大森	特定西野住宅	H10	1LDK	30,000~	5
	特定西野住宅(世帯用)	H10	2LDK	50,000~	1



七日市住宅

- ◆入居条件 公営住宅法に定める入居資格をお持ちの方が対象になりますので、事前に市建築住宅課までご確認ください。(家賃は所得額によって異なります)
- ◆申込方法 市建築住宅課窓口または各地域局地域維持課にある申込書に所定事項を記載し、必要となる書類を添付して申し込んでください。(郵送不可)  
※申込者多数の場合、抽選となります。
- ◆申込期間 11月5日(水)~14日(金)
- ◆抽選会 11月26日(水)(有資格者に通知します)
- ◆入居予定 12月上旬
- ◆申込み 市建設部建築住宅課(横手庁舎内) ☎35-2224、または各地域局地域維持課まで(8:30~17:15、土・日・祝日は除く)

市長です  
横手市長 五十嵐忠悦  
ごんいちには

○10/17:東北市長会総会  
東北75市の市長で構成する東北市長会の総会が横手市を会場に行われ、71市の市長(代理含む)、随員合わせて160人を超す方々を横手にお迎えした。総会では、私が議長を務め地域の視点から東北が抱えるさまざまな問題について議論。原油高騰対策や産科医・小児科医・麻酔科医等の確保などを求める特別決議をはじめ、東北市長会として国に要望すべき事項を話し合い、決定した。

夕方からは懇談会が催された。横手やきそば、芋の子汁など地元こだわった食材と料理、そして心づくしのおもてなしで、豊かな自然に抱かれた『食と農のまち』横手を大いにPRさせていただいた。

また、お泊まりになった多くの方々から「朝ご飯がおいしか



懇談会の挨拶では「横手の食」を大いにPR

かった」というお褒めの言葉をいただいた。中でも県外の米どころの市長からも評価いただいたことは、とても嬉しいかぎり。朝ご飯のおいしい横手の推進にご努力いただいている宿泊施設の皆様にも感謝申し上げます。折りしも、食を取り巻くさまざまな事件や事故が問題となっている最中。安全で安心な「横手の食」の多彩さを広くアピールできたことは、大きな意味があったと思う。この横手の『地域力』が出席された方それぞれの心に新鮮な印象となつて残り、東北に留まらず全国に大きな広がりとして発信されることを願いたい。



総会では、議長として会の議事進行役を務めました

# い どばたプラザ idobata plaza

市民団体やNPOなど行政以外からのお知らせを掲載するコーナーです。掲載を希望する場合は、発行日の15日前までに内容がわかるものをお寄せください。なお、記事の内容や情報量などによっては、ご希望に添えない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

鈴木信子パッチワーク教室作品展  
●期間/11月1日(土)～10日(月)、午前10時～午後5時  
●場所/コミュニティハウスね・ま～れ ●問合せ/石川さん ☎42-0820

真美会「秋の洋画展」  
●期間/11月8日(土)～11日(火)午前10時～午後6時※11日は午後4時まで ●場所/かまくら館 ●問合せ/真美会事務局 ☎32-5545

第15回横手平鹿合唱祭  
●日時/11月9日(日)午後1時30分開演 ●場所/横手市民会館 ●問合せ/柴田さん ☎32-8037

研修会「インターネット・携帯電話時代の子育て教育」  
インターネット時代に生きる子供たちの実態や、子供を守る方法や対策などを考えます。  
●日時/11月12日(水)午後2時～ ●場所/横手セントラルホテル ●問合せ/社団法人横手法人会 ☎35-7766

横手読書会11月例会「農村環境保全そして私たち」  
●日時/11月14日(金)午後2時～ ●場所/女性センター ●問合せ/横手図書館 ☎32-2662

チャリティーワインパーティー  
●日時/11月14日(金)午後6時30分～ ●場所/横手ステーションホテル ●チケット代/3,500円 ●問合せ/佐野さん ☎32-4287

食を考える「よこての食べかた」  
食に関する映画上映や展示・物品販売を行います。  
●日時/11月15日(土)正午～ ●場所/かまくら館 ●映画チケット代/一般1,200円(前売り800円)、学生500円 ●問合せ/和泉さん ☎090-2609-8103

横手フィルハーモニー管弦楽団第1回定期演奏会  
●日時/11月15日(土)午後6時30分開演 ●場所/横手市民会館 ●入場料/1,500円(学生1,000円) ●問合せ/松井さん ☎36-2235

南部エリア「お正月料理教室」  
●日時/11月22日(土)午前10時～ ●場所/南部エリア調理室 ●参加費/1,000円(材料費・保険料込) ●定員/20人 ●申込期限/11月17日(月) ●申込み/南部エリア ☎26-3880

環境ミニ講座「わが市におけるゴミの現状と減量対策」  
●日時/11月15日(土)午後1時30分～3時30分 ●場所/あさくら館 ●問合せ/渡邊さん ☎0183-73-2606

横手ユネスコ展「絵で伝えよう！わたしの町のたからもの」  
●期間/11月15日(土)～16日(日)、午前10時～午後4時  
●場所/かまくら館 ●内容/小中学生、幼児の絵画展示 ●問合せ/横手ユネスコ協会 ☎32-9683

第36回横手吹奏楽団定期演奏会  
●日時/11月16日(日)午後3時開演 ●場所/横手市民会館 ●入場料/500円 ●問合せ/加藤さん ☎080-5562-3556

自然を愛する皆さんの集い  
●日時/11月16日(日)午後1時開演 ●場所/レストラン煉瓦屋 ●参加費/800円(軽食付) ●申込み/レストラン煉瓦屋 ☎33-2811

親子で金銭管理を学ぶ「親子こづかい教室」  
●日時/11月15日(土)午前10時～11時30分 ●場所/男女共同参画センター ●参加費/1,000円 ●定員/10人 ●申込み/マネーじゅく@秋田 ☎090-8206-7194

公開講座「こどもの応急手当」  
●日時/11月20日(木)午後1時～3時 ●場所/秋田県立衛生看護学院 ●定員/20人 ●問合せ/秋田県立衛生看護学院研修班 ☎23-5015

大雄母親クラブ「はんど・はんど」防犯安全セミナー  
谷京子氏による「命の大切さ」を知るおはなし会です。  
●日時/11月24日(月)午前9時45分～11時(参加無料)  
●場所/大雄交流研修館 ●託児申込期限/11月17日(月) ●問合せ/大雄子育て支援センター ☎56-5061

とっぴんばらりのブー 第89回昔語りの会  
●日時/11月22日(土)午後1時30分～ ●場所/こうじ庵(鍛冶町) ●問合せ/尾形さん ☎32-0630

2008年 おいしいパーティー  
ポージョレ・ヌーボー&大沢葡萄JUICE&豆deラガービール  
今年は新製品の『豆deラガービール』をご用意しました。みなさんお誘いあわせのうえ、ご参加ください！  
●日時/11月20日(木)午後6時～ ●場所/横手プラザホテル ●チケット代/5,000円 ●問合せ/(社)横手市観光協会 ☎33-7111

# 情報

Information

◆期間/11月14日(金)まで  
◆場所/市建設部都市計画課(文字庁舎内)、横手地域局地域維持課※休日は日直窓口  
◆問合せ/市建設部都市計画課 ☎42・5117

### 家族介護教室を開催します

介護に関する知識や技術、介護者の健康づくりを学びます。  
【あさくら館】  
◆日時/11月6日(木)午後1時30分～4時  
◆内容/講話「在宅における介護福祉用品」、AED講習など  
◆申込み/横手福祉センター ☎33・8668

【増田ふれあいプラザ】  
◆日時/11月21日(金)、28日(金)午後1時30分～3時30分  
◆内容/介護予防についての講義、寝たきり介護実技など  
◆申込み/増田福祉センター ☎45・4848

【大雄地域福祉センター】  
◆日時/11月27日(木)午後1時～3時30分  
◆内容/湊クリニック院長講演在宅介護のワンポイント講座など  
◆申込み/大雄福祉センター ☎52・3311

【お母さんのしゃべり場】を開催します  
子育てについて語ってみませんか。当日はアロマ、ハンドマ

ッサージも体験できます。  
◆日時/11月7日(金)午前10時～11時30分(参加無料)  
◆場所/大雄公民館  
◆申込み/市教育委員会生涯学習課 ☎22・2155

### 市民公開講座in横手2008「胃・大腸がん 診療の進歩」

◆日時/11月8日(土)午後2時～4時30分(参加無料)  
◆場所/かまくら館  
◆問合せ/市立横手病院 ☎32・5001

### 横手市女性センター・横手中央公民館まつり

◆期間/11月8日(土)～9日(日)、午前10時～午後3時  
◆場所/市女性センター  
◆問合せ/市女性センター ☎33・3995、横手中央公民館 ☎32・3137

### 横手保健センター各種教室、講演会のご案内

【ウォーキング教室】  
◆日時/11月21日(金)午前10時～11時30分  
◆定員/50人(参加無料)  
◆申込期間/11月4日(火)～11日(火)  
【ヘルスアップ栄養教室】  
◆日時/11月27日(木)午前10時～午後1時30分  
◆定員/25人

◆参加費/300円  
◆申込期間/11月4日(火)～11日(火)  
【講演会「ボケは防げる・治せる」】  
◆日時/11月21日(金)午後1時～3時30分  
◆場所/かまくら館  
◆定員/100人(参加無料)  
◆申込期間/11月4日(火)～14日(金)  
◆申込み/横手保健センター ☎33・9600

### 全国学力・学習状況調査の結果の公表について

本市の今年度調査結果の概要を掲載しています。

◆URL/http://www.city.yokote.lg.jp/kyoiku/yokote/   
◆問合せ/市教育委員会教育指導課 ☎35・2123

### 横手市雇用創出協議会各種講演会、研修会のご案内

【講演会「江戸しぐさに学ぶ」キヤリア教育につながる内容です】  
◆日時/11月9日(日)午後1時～3時30分(託児有り)  
◆場所/横手セントラルホテル  
【マネジメント・コーチング研修会】  
◆日時/11月12日(水)～1月21日(水)※全6回受講できる方  
◆場所/横手市民会館  
◆申込み/横手市雇用創出協議会事務局(市産業経済部商工労働課内) ☎45・3990

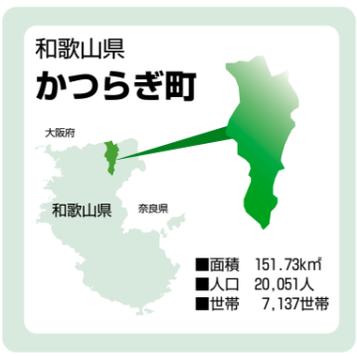
## 笑顔いっぱい



# 思えば 遠く来たんだ



さとう てるこ  
**佐藤 昭子さん** (70歳・増田)



横手に来て45年。「周囲の人に助けられてきました。横手の人は人情味にあふれています」と話す昭子さんは、和歌山県かつらぎ町の出身です。24歳のときに地元で出会った夫の勝一さんと結婚し、増田地域に移り住んできました。振り返ると、あっといふ間のように感じる横手での生活ですが、当初は言葉や生活習慣の違いに不安や戸惑いもあったそうです。「縁あって横手に来たのだから、来たからには幸せに暮らしたいという気持ちが強かったですね。前向きで、負けず嫌いな性格なんです」とはにかむ昭子さん。知り合いのいない横手で楽しく生活していくために、持ち前の明るさを活かして、地元行事やサークル活動に積極的に参加することで地域に溶け込んでいきました。「人付き合いを始めるには、まず自分から」という信念は常に持ち続けています。

「夫は私に、遠く横手に嫁いでもいいと思わせた人なんです。今考えると、やっぱり赤い糸だったんでしょうね」と、45年前の思いを語る笑顔が印象的でした。

# フレッシュ 輝リレー KAGAYARI



ふじい ななこ  
**藤井 奈々子さん** (23歳・横手)

このコーナーでは、まちのフレッシュさんをリレー方式でご紹介します。藤井さんは、前回の五十嵐さんからのご紹介です。

◆興味は？  
カラオケが好きで、同僚の保育士さんともよく行きますね。

◆仕事にやりがいを感じる時は？  
子供たちの笑顔を見るときです。私の原動力は子供たちの笑顔なんです！

◆自慢できることは？  
もちろん「子供が大好き」という気持ちです。これは誰にも負けません。

◆子供たちとの夢だった保育士になって3年目の奈々子さん。白梅保育園に勤務し、2歳児を担当しています。子供たちといっぱい遊んでくれる先生だと評判の奈々子さんは、常にスキンシップを大切に「子供たちを笑顔にさせられる先生」を目指しているそうです。

# えがおの 交差点

# いきいき マイライフ

【雄物川】



さとう えいじ  
**佐藤 英二さん**(70歳)  
あいこ  
**愛子さん**(67歳)

スポーツサークル(大雄)

# 大雄ミニテニスサークル 「ふれんど」



最大の魅力は“親子で楽しみながら運動ができること”というミニテニスサークルふれんどは、今年4月に発足。5歳～60代の会員が月2回、練習に取り組んでいます。大人と子供が一緒に参加でき運動不足の解消にもなることあって、子育て真っ最中の方も多く「サークル名のおり会員同士の仲がとても良く、年代を超えての仲間作り、交流の場にもなっています。毎回、練習日が待ち遠しくてしかたないんです」と会員のみなさんは語ります。今後は大会に参加したり、ミニ大会を企画したりと、活動の幅を広げていきたいとのこと。

初心者も経験者も一緒になって楽しめるミニテニス。「運動が苦手な人でも楽しめるはず！気軽に問い合わせてください」とのことでしたので、みなさんもぜひ生涯スポーツとして始めてみませんか。

◆問合せ 大雄生涯学習センター ☎52-3907

も元気に、長生きしたいです！と笑顔で語るお二人でした。

「練習後とはにかくリフレッシュしますね。心も体も頭でなく、次の動作を考えながら動くので頭も鍛えられます。最近では太極拳の知名度も高くなり、仲間が増えたことがうれしいですね」と話します。

「練習後はとにかくリフレッシュしますね。心も体も頭



英二さんと太極拳仲間の皆さん

# 笑顔がいっぱい



## 診療所

### 【増田地域】

**増田町診療所(耳鼻咽喉科)**  
 診療日 11月5・12日(水)  
 診療時間 14:00~15:30

### 【雄物川地域】

**えがおの丘診療所**  
 診療日 11月5・12日(水)  
 診療時間 14:30~15:30

### 大沢診療所

診療日 11月10日(月)  
 診療時間 13:30~14:30

## 休館日

お出かけ前にご確認ください

横手図書館	11月3・4・11~18日
増田図書館	11月4・10・16・17日
平鹿図書館	11月3・10・17日
雄物川図書館	11月3・4・10・17日
大森図書館	11月4・10・17日
十文字図書館	11月3・4・10・16日
山内図書館	11月1・2・3・8・9・15・16日
大雄図書館	11月3・4・10・16・17日
雄物川資料館	11月4・10・17日
ゆっぶる	11月19日
えがおの丘	11月4・10・17日
三吉山荘	11月4・11日
大森健康温泉	11月4・10・17日
ゆとりおん大雄	11月6・20日
南部エリア	11月4・10・17日
健康の駅トレーニングセンター	
東部	11月5・12・19日
西部・南部	11月1・2・3・8・9・10・15・16・17日
子どもと老人のふれあいセンター	11月4・10・17日

## 献血日程

成分献血については、予約優先とさせていただきます。  
 申込み 県平鹿地域振興局福祉環境部 ☎32-4005

月日	地域	実施場所	実施時間	種類
11月4日(火)	横手	県平鹿地域振興局庁舎	10:00~12:00	成分
		市役所横手庁舎	13:15~16:30	
11月6日(木)	横手	東北農政局平鹿平野農業水利事業所	10:00~11:30	全血
11月11日(火)	横手	やすらぎの苑	14:00~16:00	
11月14日(金)	大雄	大和更生園	10:00~10:50	
		秋田陸合成(株)	11:10~12:00	
		宮腰デジタルシステムズ(株)	12:20~13:20	
		市役所大雄庁舎	14:30~16:00	

## 休日当番医

11月2日(日)	八木橋医院	前郷一番町	☎32-0682
11月3日(月)	細谷内科医院	前郷二番町	☎36-2221
11月9日(日)	松井医院	赤川	☎36-3711
11月16日(日)	針生皮膚科内科医院	平城町	☎32-9461

平鹿総合病院 日曜夜間小児救急外来 ☎32-5124

11月2日(日)	無江医師(醍醐クリニック)	受付18:00~21:00 診療18:30~21:30
11月9日(日)	石橋医師(石橋小児科医院)	
11月16日(日)	石橋医師(石橋小児科医院)	

## 乳児健診・予防接種

乳児健診・予防接種はお住まいの地域で受けてください

### 【横手地域】

■場所 横手保健センター  
**4か月児健診**(平成20年6月生まれ)  
 日時 11月5日(水) 受付12:30~13:30  
**12か月児健康相談**(平成19年10月生まれ)  
 日時 11月10日(月) 受付9:30~10:30  
**1歳6か月児健診**(平成19年4月生まれ)  
 日時 11月6日(木) 受付12:30~13:30  
**2歳児歯科健診**(平成18年5月生まれ)  
 日時 11月4日(火) 受付13:00~13:30  
**3歳児健診**(平成17年4月生まれ)  
 日時 11月7日(金) 受付12:30~13:30  
**ポリオ予防接種**

日時 11月17日(月) 受付13:00~13:45  
 1回目対象者 平成20年6月生まれ  
 2回目対象者 平成19年12月生まれ  
 日時 11月18日(火) 受付13:00~13:45  
 1回目対象者 平成20年7月生まれ  
 2回目対象者 平成20年1月生まれ

### 【増田地域】

■場所 多目的研修センター  
**1歳6か月児健診**(平成19年3月生まれ)  
 日時 11月7日(金) 受付12:40~12:50  
**3歳児健診**(平成17年3月~5月生まれ)  
 日時 11月7日(金) 受付12:30~12:40

### 【平鹿地域】

■場所 ゆとり館  
**4か月児健診**(平成20年6月生まれ)  
 日時 11月4日(火) 受付12:50~13:10  
**7か月児健診**(平成20年3月生まれ)  
 日時 11月4日(火) 受付12:50~13:10  
**1歳6か月児健診**(平成19年3月~4月生まれ)  
 日時 11月6日(木) 受付12:50~13:10  
**3歳児健診**(平成17年3月~4月生まれ)  
 日時 11月5日(水) 受付12:50~13:10  
**ポリオ予防接種**

日時 11月13日(木) 受付13:00~13:20  
 1回目対象者 平成20年6月生まれ  
 2回目対象者 平成19年8月~9月生まれ

### 【雄物川地域】

■場所 雄物川保健センター  
**4か月児健診**(平成20年6月生まれ)  
 日時 11月6日(木) 受付12:40~12:45  
**7か月児健診**(平成20年3月生まれ)  
 日時 11月6日(木) 受付13:00~13:15  
**2歳児歯科健診**(平成18年4月~5月生まれ)  
 日時 11月12日(水) 受付12:30~13:30  
**3歳児健診**(平成17年3月~4月生まれ)  
 日時 11月7日(金) 受付13:00~13:15

### 【大森地域】

■場所 大森町高齢者等保健福祉センター  
 (2歳児歯科健診は雄物川保健センター)  
**4か月児健診**(平成20年6月生まれ)  
 日時 11月10日(月) 受付10:00~10:15  
**7か月児健診**(平成20年3月生まれ)  
 日時 11月10日(月) 受付10:00~10:30  
**2歳児歯科健診**(平成18年4月~5月生まれ)  
 日時 11月12日(水) 受付12:30~13:30

### 【十文字地域】

■場所 幸福会館  
**4か月児健診**(平成20年6月生まれ)  
 日時 11月12日(水) 受付12:50~13:20  
**7か月児健診**(平成20年3月生まれ)  
 日時 11月13日(木) 受付12:50~13:20  
**12か月児健康相談**(平成19年10月生まれ)  
 日時 11月12日(水) 受付9:30~9:50

### 【山内地域】

■場所 横手保健センター  
**4か月児健診**(平成20年6月生まれ)  
 日時 11月5日(水) 受付12:30~13:30  
**12か月児健康相談**(平成19年10月生まれ)  
 日時 11月10日(月) 受付9:30~10:30  
**1歳6か月児健診**(平成19年4月生まれ)  
 日時 11月6日(木) 受付12:30~13:30  
**2歳児歯科健診**(平成18年5月生まれ)  
 日時 11月4日(火) 受付13:00~13:30  
**3歳児健診**(平成17年4月生まれ)  
 日時 11月7日(金) 受付12:30~13:30

### 【大雄地域】

■場所 大雄地域福祉センター  
 (2歳児歯科健診は雄物川保健センター)  
**4か月児健診**(平成20年6月生まれ)  
 日時 11月5日(水) 受付12:30~12:45  
**7か月児健診**(平成20年3月生まれ)  
 日時 11月5日(水) 受付12:30~12:45  
**2歳児歯科健診**(平成18年4月~5月生まれ)  
 日時 11月12日(水) 受付12:30~13:30

## 相談

### 【横手地域】

**心配ごと相談所** ■場所 横手市社会福祉協議会  
 日時 11月6日(木) 9:30~12:00  
 問合せ 横手市社会福祉協議会 ☎33-8668  
**行政相談** ■場所 横手地域局1階1番窓口(受付)  
 日時 11月14日(金) 13:00~15:00  
 問合せ 横手地域局地域振興課 ☎32-2701  
**育児相談** ■場所 子育て支援センターなかよし  
 毎週月曜~金曜日 9:00~17:00  
 問合せ 子育て支援センターなかよし ☎32-6933  
**社会保険年金相談** ■場所 横手地域局1階相談窓口  
 毎週月曜~木曜日 10:00~12:00 13:00~15:00  
 問合せ 横手地域局1階相談窓口 ☎32-2111内線2182

### 【増田地域】

**心配ごと相談** ■場所 多目的研修センター  
 日時 11月13日(木) 9:30~12:00

### 【平鹿地域】

**心配ごと相談** ■場所 ゆとり館  
 日時 11月5日(水) 9:30~12:00

### 【雄物川地域】

**心配ごと相談** ■場所 雄物川コミュニティセンター  
 日時 11月12日(水) 9:30~12:00  
**行政相談** ■場所 雄物川保健センター健康相談室  
 日時 11月17日(月) 10:00~12:00

### 【大森地域】

**心配ごと相談所** ■場所 大森コミュニティセンター  
 日時 11月11日(火) 9:30~12:00

### 【十文字地域】

**無料法律相談** ■場所 幸福会館  
 日時 11月10日(月) 10:00~12:00(要予約)  
 問合せ 十文字福祉センター ☎42-5858  
**心配ごと相談所** ■場所 幸福会館  
 日時 11月7日(金) 9:30~12:00

### 【山内地域】

**心配ごと相談所** ■場所 山内福祉センター(ゆうらく館)  
 日時 11月4日・18日(火) 9:30~12:00

### 【大雄地域】

**無料法律相談** ■場所 大雄地域福祉センター  
 日時 11月17日(月) 10:00~12:00(要予約)  
 問合せ 大雄地域福祉センター ☎52-3311  
**心配ごと相談・行政相談** ■場所 大雄地域福祉センター  
 日時 11月14日(金) 9:30~12:00



ふれあい  
語り合い

読者同士の交流や情報  
交換に、いろいろな声  
をお寄せください。

「市報よん」

S・Sさん(28歳・美郷町)

私は横手市民ではないのですが、毎月職場で市報よんを讀ませてもらっています。今まで知らなかった横手のことを知ることができ、いつも楽しみにしています。

地上デジタル放送

「あやちゃんバーバー」さん (60歳・大雄)

2011年7月にはアナログ放送が終了し、デジタル放送になるとしきりに放送していますが、テレビ好きの私はとても困っています。台所居間、寝室とテレビをつけていますが、これを全部買い替えるとなると大変な出費。何でも値上がりして困っているのに、テレビをかうお金はどうしたらいいのでしょうか。

地産地消

「ネ」ママさん(47歳・横手)

今、食の安全が問われるようなニュースが多く聞かれます。でも秋田県では地元の農家で作った野菜、副菜などを並べている店が増えていきます。米も安心して食べられます。形は多少悪くても味は同じ。よく使わせてもらっています。農家の方々に感謝です。

駅前再開発

M・Kさん(47歳・横手)

先日、職場に旧平鹿総合病院と羽後交通ビルの解体工事の過程を示した用紙が配布されました。駅前で働いているにもかかわらず、こんなに早く着実に駅前が変化しつつあることに改めて驚きを感じています。毎日生活している私達でさえ急速に変化する市内にとまどっているのに、Uターンの方達はどんな思いを抱くことでしょう。

仲間

「石ちゃん」さん(57歳・十文字)

先日、友人のささやかな退職会に出席した。30年間、仲間として働いてきた友人がまた一人去っていった。定年まで働けることはとても素晴らしいことだ。私もあと2、3年。この会をやるように体に気をつけてがんばらなくては…。ファイト！

花壇を見に来てください

「婦人会さん」(62歳・増田)

昨年、国体用に作った花壇を今年も作りました。増田中学校より西に進んだ国道342号線沿いの場所です。行政と地域の方、増田婦人会の力の結集。何といっても立体的な花壇

壇です。9月中旬に花摘みしたサルビアが燃えるような赤に咲き揃いました。雪が降らないうちにぜひ見に来てください。

◆タイトルバックの写真はこのお便りの花壇です。11月上旬までは見事な花が見られそうです。秋田わか杉国体から1年。こうした環境美化やボランティアなどの市民運動が定着することも、国体開催の意義の一つと言えるのではないのでしょうか。

あったか横手

「フルーン大好き」さん (33歳・横手)

横手に来て3年になりました。県南はお祭りが多いですね。地域の方が協力し合って盛り上げる姿、新しく入った人々にも快く伝統を伝える温かさを感じます。子供たちを連れてどんどん参加したいと思います！

川原付近の犬のフン

「愛犬家」さん(46歳・横手)

川原に下りると、決まってリードを取り、犬を自由に放す飼主は、フンの始末をしないでそのまま帰ります。犬の散歩にきて自由にフンをさせてそのまま帰る方や、犬のフンを小さなシャベルですくい、川に投げ捨てている飼主もいます。みなさんはどう思われますか。

雪寄せロボットが欲しい

T・Nさん(79歳・増田)

高校や高専、大学のロボットコンテストが盛んに行われております。想像もできなかった電子頭脳開発にびっくり。毎年のように降る雪の除雪は老人世帯には重労働です。若い人たちの頭脳を駆使して、雪寄せロボットの開発を切に願っています。

次回はどのコースか楽しみ

匿名さん(60歳代・横手)

10月6日の市内半日観光に初参加し、有意義だった。本多正純公の詳

温泉大好き

M・Hさん(35歳・横手)

先日、近場の温泉に行ってきました。久しぶりの温泉は、ほっ、とできてとても気持ちよかったです。そこで目に止まったのが「よこて湯

「釣りキチ三平」が映画に

T・Nさん(58歳・増田)

こめぐりスタンプラリー2008。雪が降ると外出もおっくうになるので、なるべく早くスタンプ全部集めよう!!と思っています。温泉の魅力に目覚めた秋の一日でした。

横手市の名産は?

「ママのキャラメル」さん (39歳・横手)

県外の人から「横手のおみやげ何がいいかな?」と聞かれることがあります。稲庭うどん、お菓子、お酒、漬物…と答えると、「この前買った」と返されます。都会にはなく、地方で美味しい物って何だろう?!

市報よこて  
読者プレゼント

Present! お便りをくださった方に、抽選で横手市の特産品等をプレゼントします。

今年もおいしくできました!  
大沢葡萄ジュース&ジャムをセットにして

横手・大沢地区のぶどう農家が丹誠込めて作った、糖度23度以上の樹上完熟スチューベンを贅沢に使ったぶどうジュースが、今年も11月1日から発売を開始。まじりっ気なしの大沢ぶどうの甘さが楽しめる逸品は、発売から4年目を迎え、さらに極上の仕上がりとなっています。



この『大沢葡萄ジュース・スチューベン』(720ml)と、こちらも砂糖無添加の体に優しい『大沢葡萄ジャム』(150g)をセットにして、5名様にプレゼントします。

【提供】 社団法人横手市観光協会 ☎33-7111

【プレゼント応募締め切り=11月25日(当日消印有効)】  
※当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

POST CARD



お手数ですが  
50円切手をお貼りください

横手市前郷字下三枚橋163  
横手市役所市長公室  
広報広聴担当 行

フリガナ  
◎ご氏名  
◎年齢 / 歳 ◎性別 / 男 ・ 女  
◎ペンネームまたはイニシャル  
※記入がない場合、実名で掲載させていただきます。  
◎ご住所  
電話 ( ) -

◎市報11/1号読者プレゼントに応募しますか  
1. はい 2. いいえ



# Event Calendar

## イベントカレンダー

11月1日～11月17日

11/1 (土)	よこて菊まつり(～11月9日、秋田ふるさと村ほか) 増田地域じまん市(～2日、10:00～、増田ふれあいプラザ駐車場)
2 (日)	
3 (月)	平鹿りんご味覚まつり(10:00～、ときめき交流センター『ゆっぷる』) 南部エリア秋の祭典(10:00～、南部エリア)
4 (火)	
5 (水)	●グラウンド・ゴルフ大会ラストコール杯 日 時/11月5日(水)7:30～8:30受付 場 所/大森グラウンド・ゴルフ場 参加費/500円 問合せ/大森地域局産業振興課 ☎26-2117
6 (木)	
7 (金)	霜月神楽(19:00～、波宇志別神社里宮神殿)
8 (土)	女性センター・横手中央公民館まつり(～9日、10:00～、市女性センター ※展示は7日から)
9 (日)	
10 (月)	●平成20年度県展入選者作品展 日 時/11月4日(火)～27日(木) 場 所/横手公園展望台 入場料/100円(4館共通チケット) 問合せ/横手公園展望台 ☎32-1096 横手地域局産業振興課 ☎33-7111
11 (火)	
12 (水)	
13 (木)	
14 (金)	
15 (土)	
16 (日)	横手市増田「民俗芸能フェスティバル」(13:00～、増田ふれあいプラザ)
17 (月)	

親子でござ

### 南部エリア無料映写会のお知らせ

- ◆上映時間/午後1時～  
9日(日)「ルパン三世 お宝返却大作戦!!」 [92分]
- 16日(日)「クレヨンしんちゃん 嵐を呼ぶ!栄光のヤキニクロード」 [92分]
- ◆問合せ/南部エリア(大森町菅生田) ☎26-3880

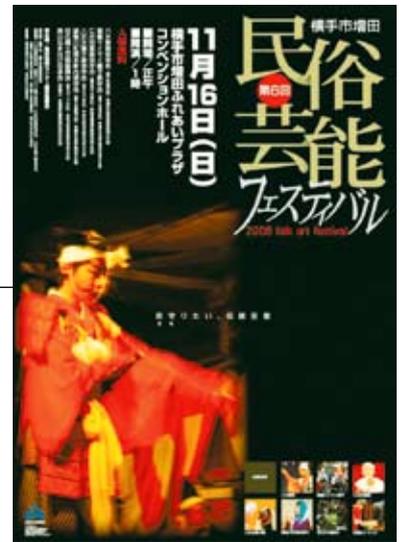
## Pick up

### ◆11月16日(日) 第6回横手市増田 民俗芸能フェスティバル

増田地域には古くから続く民俗芸能がありますが、近年後継者不足などの課題を抱えています。地域の民俗芸能保存会では、芸能の保存・継承のため後継者育成に努めており、その成果を披露する『民俗芸能フェスティバル』を開催します。

各保存団体の協力を得て、普段は目にすることが難しい県内の7つの民俗芸能が披露されます。ぜひご来場ください。

- ◆日 時/11月16日(日)午後1時～4時30分(正午開場)
- ◆場 所/増田ふれあいプラザ(入場無料)
- ◆出演団体/八木番楽保存会(横手市増田)、福嶋サイサイ囃子保存会(同)、仁井田番楽保存会(横手市十文字)、八沢木獅子舞保存会(横手市大森)、雄物川町岡本新内保存会(横手市雄物川)、真山なまはげ伝承会(男鹿市)、切石郷土芸術振興会(能代市二ツ井町)
- ◆問合せ/増田地域センター(増田ふれあいプラザ内) ☎45-5556



### ◆11月7日(金)～8日(土) 保呂羽山の霜月神楽



真剣を使った「神入舞」

巫女による優美な舞

国指定重要無形民俗文化財『保呂羽山の霜月神楽』は、保呂羽山波宇志別神社に伝わる貴重な神事。1200年以上の歴史があると言われ、純神道の湯立神楽としては国内最古のものです。毎年、霜月(11月)7日の夕方から翌8日の朝にかけて、古式に則った三十三の神事が夜を徹して行われ、神に収穫を感謝し、来る年の豊穡を祈り神楽が奉納されます。

- ◆日 時/11月7日(金)午後7時～8日(土)午前6時頃
- ◆場 所/保呂羽山波宇志別神社里宮神殿
- ◆問合せ/市教育委員会文化財保護課 ☎24-3480

発行/横手市役所 ☎0182-35-2111(代)  
編集・デザイン/総務企画部 市長公室  
〒013-8601 横手市前郷字下三枚橋163  
TEL:0182-35-2162 FAX:0182-33-6061  
ホームページアドレス/http://www.city.yokote.lg.jp/